

最低賃金の改定時期が近づいています。 助成金の活用について、今すぐご検討を！！

業務改善助成金

のご案内



業務改善助成金とは…

中小企業・小規模事業者の生産性向上を支援し、事業場内で最も低い賃金（事業場内最低賃金）の引き上げを図るための制度です。

生産性向上のための設備投資やサービスの利用などを行い、事業場内最低賃金を一定額以上引き上げた場合、その設備投資などにかかった費用の一部を助成します。

支給対象者

事業場規模 30 人以下で、事業場内最低賃金と地域別最低賃金の差額が 30 円以内の事業場 ※過去に業務改善助成金を受給した事業場でも、助成対象となります。

支給の要件

- ① 事業実施計画を策定すること
 - (1) 賃金引上計画：事業場内最低賃金を一定額以上引き上げる計画（就業規則等に規定）
 - (2) 業務改善計画：生産性向上のための設備投資などの計画
- ② (1) 引上げ後の賃金額を支払うこと（引上げ後の賃金額が、事業場内最低賃金になることが必要）
(2) 生産性向上に資する機器・設備などの導入による業務改善を行い、その費用を支払うこと
- ③ 解雇、賃金引下げ等の不交付事由がないこと など

助成額

★次の表のとおりです。

事業場内最低賃金の引上げ額	助成率	引き上げる労働者数	助成の上限額	助成率
30円以上	事業場内最低賃金と地域別最低賃金の差額が 30 円以内 かつ 事業場規模 30 人以下の事業場	1～3人	50万円	3 / 4
		4～6人	70万円	
		7人以上	100万円	4 / 5

生産性要件（※）を満たした場合は

※ここでいう「生産性」とは、企業の決算書類から算出した、労働者1人当たりの付加価値をいいます。助成金の支給申請時の直近の決算書類に基づく生産性と、その3年度前の決算書類に基づく生産性を比較し、伸び率が一定水準を超えている場合等に、加算して支給されます。

【活用事例】 ステンレス製型枠の導入により工期の短縮と施工精度を向上！

【所在地】 新潟県 【従業員数】 26人 【事業の種類】 建設業

★課題と対応

橋の工事に使う木製の型枠を作成し使用していましたが、使用して3回で廃棄し新たに作る必要があることから型枠の作成に時間と費用がかかっていました。そこで、助成金を活用してステンレス製型枠を導入しました。

木製の型枠の作成に時間と費用がかかっているな。



ステンレス製の型枠を導入して、工期の短縮を図りたい。

ステンレス製型枠を導入したことで、型枠の作成や設置にかかる時間が短縮され、現場の施工精度が高まるとともに、コスト削減にもつながった。

型枠の作成にかかる時間の短縮によって生産性が向上し、3人の従業員の時間給（事業場内最低賃金）を30円引き上げた。さらに他の従業員との差異のバランスを取るため、他の従業員の賃金も引き上げた。

助成金受給！

お問い合わせは、

◎助成金の要件、申請書類の確認等…富山労働局雇用環境・均等室（TEL 076-432-2740）

◎自社にあった業務改善計画の策定等…働き方改革推進支援センター富山（TEL 0120-931-058）

～・業務改善助成金の活用事例～

具体的な設備投資などについてご参考になさってください

業務改善

事例1

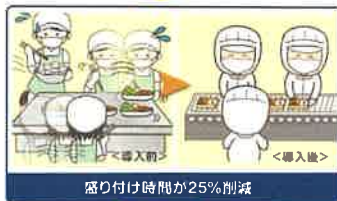
ベルトコンベアの導入による弁当の盛り付け作業の効率化

<企業概要>
【所在地】新潟県
【事業の種類】食品製造販売業

<課題と対応> 弁当製造における盛り付け時間を削減するため、設備投資による業務効率化を検討してきた。

配膳台の周りを従業員が移動して盛り付けを行っていたため、業務が非効率になっていた状況でした。そこで、助成金を活用してベルトコンベアを導入しました。

弁当の盛り付け作業を効率化したい



盛り付け時間が25%削減

専務取締役

<独自の工夫>

以前は4種類の価格帯の弁当を製造していたが、1種類に集約することで製造の効率化が図られ、仕入リスクも軽減している。

<実施内容> ベルトコンベアの導入で弁当の盛り付け時間が2時間から1時間30分に短縮し、同じ時間で10%多く弁当を製造することができるようになった。

<成果> 弁当の盛り付け時間の削減によって生産性が向上し、28人の従業員の時間給(事業場内最低賃金)を30円引き上げた。さらに、事業場内最低賃金以外の従業員の賃金の引上げを実施した。

助成金活用のポイント

ベルトコンベアを導入したことで、弁当の盛り付け作業の効率化につながった。

(平成29年度時点の制度に基づく事例)

業務改善

事例2

セミセルフPOSレジの導入によるレジ業務の効率化

<企業概要>
【所在地】熊本県
【事業の種類】生鮮食料品小売業

<課題と対応> 繁忙時のレジ待ちの行列を削減するため、設備投資による業務効率化を検討してきた。

購入代金や釣銭の受け渡しまでをすべて従業員が行っていたため、顧客の多い時間帯でレジ待ちの行列ができる状況でした。そこで、助成金を活用してセミセルフPOSレジを導入しました。

レジの精算業務を効率化したい



レジの精算時間が1.5倍の速さになり、預り金や釣銭の受け渡しの間違いがなくなった

人事課長

<独自の工夫>

各商品ケースの本体電源をこまめにOFFにしたり、(別スイッチ)を取り付け、同業他社と比べ営業時間を短くしつつ商品を売りつくすようにしたりし、廃棄ロスや保管設備費の削減につながっている。

<実施内容> 商品のバーコード読み取り後の購入代金や釣銭の受け渡しを顧客が機械で行うようにしたことにより、精算時間が短縮し、同じ時間でより多くの精算処理をすることができた。

<成果> レジ業務の削減によって生産性が向上し、23人の従業員の時間給(事業場内最低賃金)を52円引き上げた。さらに、事業場内最低賃金以外の従業員の賃金の引上げを実施した。

助成金活用のポイント

セミセルフPOSレジを導入したことで、レジ業務の効率化につながった。

(平成29年度時点の制度に基づく事例)

業務改善

事例3

新型の大容量釜導入による仕込み作業・清掃作業の効率化

<企業概要>
【所在地】栃木県
【事業の種類】麺類の製造及び販売業

<課題と対応> 麺製造時の仕込み回数や生製品自切り替え時の釜の清掃時間を削減するため、設備投資による業務効率化を検討してきた。

一度に大量の仕込みができ、また、生製品目を切り替える際の釜の清掃に時間を要していたため、業務が非効率になっていた状況でした。そこで、助成金を活用して新型の大容量釜を導入しました。

仕込み作業を効率化し、あわせて生製品目切り替え時の釜の清掃作業を効率化したい



一度に大量の仕込みが可能となり、清掃人員は5名から3名に、1日で100分の清掃時間が短縮

専務取締役

<独自の工夫>

各工場の現場責任者及び現場リーダーが月に1回、アルバイトパートに業務効率化に対するアンケートを取り、集計結果を専務取締役にてフィードバックして改善を行っている。

<実施内容> 大型で、生製品目の切り替え時に、麺製造時の残り物が落ちやすい釜に変えたことで、一度に大量の仕込みが可能となり作業の負担軽減・効率向上、光熱費削減が図られるとともに、清掃作業負担が軽減し、清掃に係る人員や時間を削減することができた。

<成果> 仕込み作業の効率化・釜の清掃負担の軽減によって生産性が向上し、8人の従業員の時間給(事業場内最低賃金)を40円引き上げた。さらに、事業場内最低賃金以外の従業員の賃金の引上げを実施した。

助成金活用のポイント

新型の大容量釜を導入したことで、仕込み作業・清掃作業の効率化につながった。

(平成29年度時点の制度に基づく事例)

業務改善

事例4

新型食器洗浄機の導入による洗浄業務の効率化と光熱・洗剤費用の削減

<企業概要>
【所在地】広島県
【事業の種類】ホテル業

<課題と対応> 食器洗浄に要する人員、時間、電力、水、洗剤を削減するため、設備投資による業務効率化を検討してきた。

25年前に導入した食器洗浄機を便っていたため、洗浄に要する人員・時間・経費がかかり、業務が非効率になっていた状況でした。そこで、助成金を活用して新型の食器洗浄機を導入しました。

食器洗浄作業を効率化したい



洗浄人員は6名から5名に、食器洗浄・乾燥時間が2/3に短縮

社長

<実施内容> 新型食器洗浄機を導入したことにより、洗浄・乾燥に係る人員や時間、電力、水、洗剤を削減することができた。また、掃除や整理整頓など、他の作業時間を創出できた。

<成果> 食器洗浄にかかる人員や時間の削減によって生産性が向上し、1人の従業員の時間給(事業場内最低賃金)を40円引き上げた。さらに、事業場内最低賃金以外の従業員の賃金の引上げを実施した。

助成金活用のポイント

新型の食器洗浄機を導入したことで、食器洗浄業務の効率化・経費の削減につながった。

(平成29年度時点の制度に基づく事例)